

幸せを呼ぶ「発想塾」

出版にあたって

はじめに

- 1 : 人間本来を蘇らせる「発想塾」に学ぶ:日本再興(最高)
- 2 : 出版のきっかけと目的
- 3 : 取り組まれる発想塾の威力
- 4 : AI時代の今、考えることの重要性和「凄い」を呼ぶ未来塾
- 5 : 「発想塾」の学びの効果
- 6 : 発想塾を企業に導入され、凄い効果を知る
- 7 : 日本の未来のためにも「発想児童塾」の重要性
- 8 : 発想塾学びの進化(フォトンが未来を拓く)
- 9 : 極小素粒子「フォトン」の凄さ(運気の上・下の原因)
- 10: 人の心(本心)を読み取る機器「スカイハート」?
- 11: 人に大きく影響しているフォトン
- 12: 運気が上昇する言葉/下降する言葉(行為)
- 13: 地球(モノ・生命)の成り立ち
- 14: 出版にあたっての意図
- 15: 書籍を購入される方へ
- 16: 発想塾の取り組み効果

人間本来を蘇らせる

「発想塾」に学ぶ: 日本再興(最高)

日常の中に、DX（デジタル・トランスフォーメーション）のことをよく目にするようになりました。これはテクノロジー（デジタル技術による時代変革を招いていること）による世の中の対応への難しさや失敗を恐れる不安を告げているのですが、結果は国民に不安をあおっている言葉で終わっています。

このような時代変化からくるDX報告（レポート）には、書籍や記事内に最近多くの不安な課題を挙げていますが、これらの課題（問題）は分かるのですが課題だけを示しているのでは、不安を増す（あおる）ことで終わっています。

今日、周りを見渡せば、テクノロジー（デジタル技術）による大変革が起き、AI化は人の仕事を多く奪っており（更に増える）、日本における社会変化も、人口減少、超高齢化社会、空家の増加、一人暮らし社会、結婚をしない、子供をつくらない、銀行・百貨店減、社会保障費増、IT化の遅れ、3世代同居減、更に今回のコロナ禍で公共交通機関の利用の激減。

更に、戦後の日本国を先人は、「勝つまでは、欲しがりません」と、国民のみんなが驚異的な頑張りで、世界の先進国を築きあげました。当時の車業界、電気業界は基より、中小企業の凄い頑張りがあり、経済成長や生活レベルは世界が驚く進展（成長）を果たしました。しかし、70年経った今日、先人の頑なりに溺れ（忘れ）、平和ボケした状況が続いています。世界での先進国を示す順位も、各方面でどんどん下がっています。先程のDX報告も、このような不安社会・不安未来の報告（レポート）・書籍を多く発していますが、「では、どうすれば、これらの問題を乗り越え、夢のある社会を築けるか」が示されていません。特にマスコミやジャーナリストはこれらのDX危機を口にはするが、解決方法「どうすれば良いか」が示されず、不安を煽っている姿がある。これでは不安を増し、未来が閉ざされたままとなる（現在の危険な日本の姿）。

私は日本人（世界人類も）が夢のある未来を描き、生き続けるために、先への不安をどう解決すれば良いか、更に、これからの若者は先人の頑なりを引き継ぎ、夢をもって未来（先）を描く（考える）ことの重要性を学ぶことが重要だと考えています。

夢を描くことが出来れば大半の問題は解決する。しかし、現在のDXなどの大半は不安をあおったままで、未来への失望感を与えたままとなっています。特に戦後教育を受けた国民（「覚える教育」を受けたほぼすべての現国民）の心の中では未来は拓けないままになっています（特に将来を託すべき若者に、夢が無くなっています）。結婚をしない、子供をつくらない、自分のことだけで考

える。未来へ拓けたアドバイスも無ければ失望感（マイナス思考）が増すだけである。今の日本の姿は未来（国）を無くしている。

私のご提案は、上梓します書籍内にて「**夫々が考える人間になる**」ことです。戦後のGHQに始まる覚える教育（現国民のほぼ全て）を受けた皆様は、現状、過去を知る（覚える）ことが主のため不安のみがインプットされ、未来を考える教育を受けていないため、先を考えることに難しいモノがあります。そこで、書籍内に詳しくありますが現状の問題点を見つけ夫々が「新」を考え（現在の日本人は不得手だが）、皆様が**未来に向かって考えること**を癖にすることにより、夢のある「凄い社会創り」ができ、何年か先には「大した問題ではなかった」と、不安が無くなり、夢を描き続ける再興（最高）の国家（自分）となります。

人間本来の生きる目的を知る（A I時代の今日、特に重要）

基本：主体性を持って楽しく生きる（家庭、近隣、学校、職場などすべての生活の中に、「楽しい」があることです）。

具体策：① 夢を持って生きる。

② 信頼された人間関係がある。

③ 仕事が楽しい（A I時代は特に）。

④ 仕事仲間の仲が良い、嬉しい。

⑤ 収入（お金）が得られている。

⑥ 生活ベースである家族の仲が良い。

⑦ 健康である（ピンピン・ कोरोリの人生）。

実現に向けて

A I時代が進んでいる今日、これらを実現するためには、戦後のGHQに始まる、覚えることを主体にした教育を受けた国民（現国民のほぼ全て）に欠けている**考えること**（これは世界基準から遅れているより、欠けているのです）。この重要項目の改善です。周りを見渡して、当たり前と捉えずに、「何とかしよう」と、「考えること」です。

これは正に、私のご提案させて頂いている独りから始まる「発想塾」です。書籍（幸せを呼ぶ**発想塾**：文芸社）を上梓させて頂いています（令和3年5月に書店に並びます）。

皆様夫々が楽しい人生を送るために、考える塾「発想塾」を、誰に頼ることなく、まずは自分から、無理をせず、笑いながら（笑顔で）、取り組んでみて、素晴らしい人生を手にしてみてください。

詳しくは発想塾内で学んでください。

発想塾 総塾長
中山 憲士

出版のきっかけと目的

タイトル:「**幸せを呼ぶ発想塾**」

発想塾総塾長 中山 憲士

**出版の話を周りの人にすると「えっ、ウソでしょう」となりますが出版します。
出版のきっかけ及び目的について少しだけ。**

私には、出版するなど全く考えていませんでした。しかし、日々、社会の中に気になることをメモにして記録していました。そのような中、2020年9月末に、地元紙「四国新聞」に、文芸社の出版相談会の小さな記事を見つけ、「ちょっと行ってみるかな」と、気軽な気持ちで寄ったのがきっかけでした。そこで、社会問題について出版相談をすると、「個人の方が出版しても、まず売れませんよ」でしたが、「念のために、原稿を送ってみてください」となり、内容を見直し、半月後に文芸社に送付すると、数日後、「社内の関係者6人が読ませて頂きました結果、6人共に『面白い、売れそう』となりました」と報告がありました。それから、出版までには約半年は掛るということとなり、出版に向けて諸準備をさせて頂き今日に至っています。「さて、本当に売れるのだろうか」と思う一方、書籍の内容は「日本の将来のためにも重要なことだ」と思っていることもあり、責任感が増しています。

書籍の概要と目的は

AI時代の今日、読者様、そして周りの方（家族・地域・学校・職場などすべての日本人）が人間らしく夢を持ち、沸き立つ元気な日本人になることです。そのためにGHQに始まる戦後からの覚える教育（記憶する）から、未来に向かって、①「考える私（日本人）」②「夢のある私（日本人）」③『『凄い、スゴイ』と周りを褒める私（日本人）」④「前向き思考・肯定をする私（日本人）」など、AIには出来ない、常に自分も周りも沸き立ち、幼時から高齢者様までのみんなが、正しいことを信念として生きる重要性、これは今まで、置き去りにされていた人間として、楽しく生きる喜び、生甲斐のある人生を甦らせ、「嬉しい、楽しい」と、本来の人間の姿を呼び戻すことが目的です。詳しくは塾なり、出版本を参考にしてください。

皆様の運気が上がり、幸せ人生を築かれますよう切に願っています。

著書名:「**幸せを呼ぶ発想塾**」 出版社名: 文芸社 出版予定: 令和3年4月

お求め先: 全国の書店 及び発想塾開講時

取り組まれる発想塾の威力

ようこそ発想塾へ

発想塾に縁のある方は、凄い体験をして頂きます。書籍を読まれた方も、塾に参加された方も、人間らしい同様の体験効果を得ます。AI時代となった今日は、デジタル社会となり、覚えることや繰り返し作業や業務の全てでAIには勝てません。日常から、人間らしさが失せて、人間本来の、面白い、嬉しい、楽しいが失われてきています。そこで、日常の中に夢を持ち、人間らしさを取り戻すのが、自分（あなた）から始まる発想塾活動です。

活動及びその威力の一部を紹介しましょう。

発想塾は今までの日本には無かった「考えること」を一番に置いた塾です。塾と言えば「塾長が先生となって」と思われますが塾生が答えを塾長に教える（真逆）のです。周りを見渡し、世界を見渡し、過去を辿り、歴史を学び、そして、ここに何があれば…、10（30）年先には…。あの地に…が。まさに、時空を超えた考え方（未経験・未来）を学ぶことから始まります。そして、得られるものは、未知の世界から届くモノを探し、探して、考えて辿り着く学びの喜びです。発想塾での経験（学び）を活かし、途中の厳しさを、時には独りで、時には仲間と、乗り越えて、凄いモノを手にする事です。

これらは、独りから始まり、家庭の中（爺さんと孫と一緒に考えることも）、であったり、学校内で友人らと考えることであったり、職場の中で専門（プロ）的なことを生みだしたり、……。結果、国中が驚くようなことにたどり着くかも知れません。これらはAIには出来ない、前向き思考（発想塾では特に重視しています。）を繰り返すことで、人間としての次世代の「新」を生みだし、誰もが「エッ、凄い」の体験をして頂きます。これが発想塾活動です。

無から有を生むこのような活動を通して、人間の生きる喜び・学びがあります。「私には発想力が無い」と言う方も、塾を体験して頂くと、驚きと、大きなプラス体験になったと、「今日から楽しく、心して発想塾活動を進めます」と前向きな体験談を頂きます。思い込まないこと、無理をしないことも発想塾活動において、重視している項目です。

※ 発想塾活動への参加頂は、すべての人ですが、特に未来を創る子供達に参加して頂きたいです。将来、塾参加者から、「特許をとった」、「ノーベル賞をもらった」などの未来が明るい朗報が届くことを願っています。

発想塾 総塾長
中山 憲士

AI時代の今、考えることの重要性と「凄い」を呼ぶ未来塾

人間は、健康になるために、若さを保つために、ボケないために、薬を飲みますが「発想塾」は、薬を飲まなくても、同等以上の効果が自分を中心に周りのみんなも含めてあります。

発想塾活動に参加しての効果は、自分を、家庭を、職場を、地域を伸ばし、元気で前向きになり、知恵を呼び、幸運を招き、毎日が楽しく、夢をもって励み、心が沸き立ち、面白い充実した人生を呼び込みます。取り組まれる人の環境が大きく変わります。

「塾」活動は、自分や家庭内だけでなく、周り（幼、小、中、高、大、学校、学習塾。そして、職場・自治体・首長・経営者・経営コンサルタントなど）すべての人の、24時間が対象となります。テーマを見つけて、周りの人たちと沸き立ち、常に斬新なモノを生む癖が、考える喜びとなり、元気な日々を生みだします。

一例として、職場環境を観ると、AI化と重なりコロナ禍により、全ての職場で、今日大きな変化が起きています。「新」への取り組みが出来なければ沈み込むこととなります。変化の早さは予想をはるかに超えたスピード（3倍／従来の30年が10年です）で「変化」しています。AI化への取り組みも早く取り組んだ方が成長する傾向（変化することが重要となる体質）があります。

これらを「大変だ！」と、悲観的に捉えず、「業界で勝つためにチャンスと呼び込むことだ」と、前向きに楽しく考え、取り組むことです。

他にも次世代を考えるテーマは幾らでもあります。自治体にも「人口を増やす」ための提案、「高齢者が元気になる場所を提供」する新提案。更に、既存の学習塾にも、「子供が考える癖をつけ、楽しくの能力を伸ばす方法」の新提案。家庭内にも、「仲の良い家族創り」の新提案。更に、企業には、多くの効率や収益力アップ、スキルアップなどの「新提案」が浮かんできます。

学校教育においても、地域活動においても、家庭内においても、10（30）年先の姿にも、そして若者～老人まで、朝から晩まで24時間、「発想塾」の考え、提案するテーマは無限大にあります。今まで、覚える教育を受けてこられた日本人のほぼすべての人が考えることは苦手かも知れませんが、AI時代の今日、人間を取り戻し、みんなで沸き立ち、運気を上げ、楽しく考える癖をつける発想塾を体験してみませんか。無理と思っていた人たちが「楽しい」「私にもできる」「家族内にも取り入れる」など、積極的になる人が多くいます。

発想塾 総塾長
中山 憲士

「発想塾」 学びの効果

皆さんの「命を喜ばせ」幸せになって下さい

全ての人が総合的に取り組むこと

- ・ 周りを見渡して、未来の「新」を考えること。
- ・ AI時代の生き方、人間本来の姿を呼び戻し、楽しく生きること。
- ・ 「凄い、スゴイ」の言葉が飛び交い、「善・フォトン」が運気を上げる手法。
- ・ 感謝の言葉、健康に、人間に、自然に、歴史に、地域に、今の自分に感謝。そして、過去、現在、未来、周りに感謝するとともに、自分（人）としての役目（位置）を知る。
- ・ 身近なモノを考えることの面白さ（喜び）を学ぶ。
※ 更に、「おいしく」「美しく」「面白く（笑ってしまう）」「…」すること。
目の前にある「茶碗を」「お茶を」「お菓子を」「ノートを」「鉛筆を」。更にで、考える。この場所に10年前に無かったモノ、そして10年後に生まれるモノを考える。また、周りを見渡し、縦（時間軸）横（場所・位置）で見直し、当たり前と考えないこと。
- ・ 特許など、知的財産権取得の手法が身近に学べます。
塾に参加する人は「自分の人生で特許を一つは持ってください」。
- ・ 子供に「考えること」の習慣化を指導（特許についても学べます）。
- ・ 子供発想塾の育成（考える癖を持った、頭の良い子を育てます）。
- ・ 業界、業種毎、更に企業や組織の方々に課題解決や、戦略相談も行います。
- ・ 年代毎の発想塾の開催。
- ・ 家庭、地域、学校、職場、老人会などのグループの発想塾指導。
- ・ 10年先を読み解く指導（〇〇企業。〇×業界。農業。通勤・通学は。…）。
- ・ 世の中の問題（課題）発生は、「困った」で終わらせずに、チャンス到来だと解決手法を考えるグループ創り。世の中には、人も、モノも100%は存在しない、「だから面白い」と、不満とせず、考える癖を学ぶ。
- ・ 幸運を呼ぶには、善フォトン派動（フォトンは、最近分かりつつある目には見えない、極小さな素粒子で、私たちの周りには多く存在しています／逆の悪フォトンもあります）を呼び込む手法を学び、多くの成功者が行っている自分の参拝する善フォトンの多くいる神社を参拝することもその一つです。
- ・ 身の回りで起きている現象の、すべてを肯定（感謝）することの凄い効果と、自分の身の回りで起きていることを簡単に運氣上昇に繋ぐ方法を学ぶ。

発想塾 総塾長

中山 憲士

発想塾を**企業導入**され、凄い効果を知る

大変革を求められている日本の仕事観
(AI時代の今、人間を取り戻し、生甲斐を得る)

- ・ **AI時代**の企業づくりに向けて**(大きな変化が必要)**。
- ・ **10~30年先を見据えた企業**づくり (従来の3倍の速さで変化)。
- ・ 常に、変化を考え**「どうすれば」**で、考える企業体質づくり。
- ・ 何で付加価値を付け、**収益率を上げるか**を日々考える。
- ・ 企業は人である。人が常に**楽しい、面白い、嬉しい**と思う企業づくり。
- ・ 社内のみんなが**運気を上げ、成果を出す手法・生き方**を楽しく学ぶ。
- ・ 業界を知っているから (逆に知らないからこそ観えるモノ) の話。
- ・ 社員の意識が変わる。**(肯定する前向き思考・言葉)**。
- ・ **やる気を生むための言葉**を知り、笑顔が蔓延する姿。
- ・ 自分の周りを**幸せにする法則**を学ぶ。
- ・ 企業導入は、同時に**社員の家庭内も元気**にすることになる。
- ・ 企業理念が人の生き方追及、**幸せ追及**となり、面白い、楽しい、元気、仲良し。そして運気上昇を目指し、人間本来の**喜びながら働き、高収益**を上げる次世代企業と化します。
- ・ 何と言っても、社員意識の変化は、企業間の**競争力が優位**になる。

高い(強い)運気を持つ

運を持っている (ある) 人は、悪をしない。無意識の世界 (深層の心) の中に、ウソは絶対につかない、正しい生き方をしている。それは、心の奥に「正しいことをする (してきた)」があり、まさに正しい生き方の使命を天 (神) から授かっていると常に思っている。これは多くの成功者が発している声でもある。途中で厳しいことがあっても「学ばして頂いている。ありがたい」と、不満を發せず、さらに他責にもせず、常に感謝し謙虚で前向き思考で乗り越える姿がある。これが無理をせずに運気を上げている (運のある人の周りには、常に善フォトンを多くいる)。世の中で起きている全てのことは、私 (自分) に必要なこと、全てから学びを頂いている。「天に感謝しかない」と捉えている。

このように、まさにピンチをチャンスに変えることのできる人です。

※ 塾をご希望される方は、弊社 (ランデックス工業) までご一報を下さい。

発想塾 総塾長

中山 憲士

日本の未来のためにも「発想(児童)塾」の重要性

子供には大きな未来があります。360度自由さを持って生まれています。この自由さを大人(親)が遮ることなく、さらに伸ばしてやり、大きく未来を拓いてやることです。そのために、発想塾では、特に子供塾には力を注いでいます。

その基本は、子供が発している「自由さ」を遮らないことです。家庭内において、よくあることですが、「勉強しなさい」「静かにしなさい」「ゲームばかりしていないで、学校の勉強をしなさい」。また、変な帽子のかぶり方をしている姿を見て、「バカなことを止めなさい」などと叱ることなど、上から目線で見ている姿があります。この状態では子供の行動や思考は改善されません。むしろ悪い方向(発する言葉の逆方向)の行動をします。先ず叱らずに発想塾が勧めている自主性の尊重、「凄い」という肯定言葉を発し、前向きな気持ちにさせることです。詳しくは発想塾内及び、私が上梓しています「発想塾(文芸社)」の書籍を一読してみてください。

学校では、答えのある「覚える教育」をしますが、「子供発想塾」では自主性を重んじた答えのない「考える教育」の学び方を提供しています。塾に参加した子供達は答えのないモノを、自主的に360度周りを見渡して、考え、考え、答えを生み出します。途中には沸き立ち、考えることの喜びを十分満足させ、考えることが癖になる子供に、そして大人に育っていきます。勿論、そのように無理をせず、沸き立つ経験を積み重ねる中から、自分の生きる道(やりたいこと)を見つけ、充実人生を得ることを指導していきます。途中に、子供からの質問があってもヒントを与え、答えは自分で考えるように指導していきます。

塾のテーマの殆どは、「世の中に無いモノを楽しく考えること」です。

AI時代を迎えた今日、覚える(暗記する)ことなど、答えのあるものや、決まった手法や繰り返しを覚える従来の教育(今の仕事も大半がこれ)も必要ですが、どこにでもAIが存在しようとしている今日、人間の本来の喜びは、世にないモノを、無から有(新)を考え、考え、生み出すことは、人としての大きな喜びが生まれます。これらは子供の頃から、今の日本の教育にはない「考える文化(教育システム)」を定着させることです。今日、世界から、「考えない日本人とか、自分の意見を言わない日本人」などと、揶揄されています。日本の将来を見据えたとき、戦後のGHQ傘下の教育を受けた日本人(現在の大半の人)が、世界から大きく遅れた日本人となることは明白です(すでにその傾向は各所に表れています)。未来を拓くためにも、今の子供達を「考えさせること」を習慣化することが緊急の課題です。

発想塾 総塾長 中山 憲士

発想塾 学びの進化

極小素粒子「フォトン」が未来を拓く

人類(時代進化)の歴史をたどると、人が生まれ、交流手段として言葉が生まれ、文字が生まれ、更に遠くの人への意思を伝える手段として、手紙が生まれ、昭和になって、電線を使って電話が生まれた歴史がある。当時、「電線で言葉が送れるなんて、ムリだよ。どうやって」などの周りの声がありました。今日では更に進化して無線電話(携帯電話)、そして、更に進化し、声と動画が送れる携帯電話となりました。

私は、これから更に進化して、声だけではなく、人の心(気持ち)が伝わる(読み取れる)システムの誕生は近いと思っています(この研究開発はノーベル賞へ繋がるかも)。それは、私が上梓しました「発想塾」の書籍内や塾開催時などに話をさせて頂いていますが、最近、物理学の関係者がノーベル賞を多く受賞されている素粒子発見などの傾向をみれば、量子力学の中から発見された極小の素粒子(電話の電波などと同じようなモノで人には見えない素粒子)の一つ「フォトン」が人やモノから発せられ、場の雰囲気を受けて派動として周りに伝達していることが解明されつつあります。人と人が会った(集った)とき、沸き立ったり、沈み込む雰囲気を作り出しているのがフォトンです。他の動植物間でも同じように、場の良い雰囲気(私は善フォトンと呼ぶ)や、悪い雰囲気(同様に悪フォトンと呼ぶ)を発していることが解明されつつあります。

このように生命体の発する感情(想い)は派動となって、周りに大きな影響を出しているのです。この例の如く、生け花に「きれいだね」と発すれば、何も言わない花よりも長持ちするといわれています。勿論、「醜いね」と発すれば早く枯れます。

人間同士の感情の起伏が伝わるのも、このフォトンです。独りの時、家庭内、学校内、地域内、職場内。更に、遠くにいる人に対しても、自分が暗い気持ちになれば自分を含め周りにも伝染します。逆に明るい気持ち(心)を持つと、自分も沸き立ち、周りも沸き立ち、前向きになります(善いや、悪い場所を感じるのも、これにあたります)。

沸き立つ善い雰囲気は、幸運を呼び込み。その場にいる人を、更に幸せにします。(神社への参拝や奉仕、ゴミ拾いなどのボランティアや、また他人に尽くし、良いことをすれば、皆の幸せ感が増すのも、善フォトンの派動を受けているからなのです。)

私は発想塾活動において、「人も、モノも、100%の完成はない」と、言っていますが、これらは宇宙が誕生してから、未完成部分を、人にも、モノにも、不満とせず、未完成部分を「進化させて、喜びとしなさい」と、宇宙が発しているのです。少しでも進化させることが人類に課せられた責務です。故に、未完成部分を見つけたときには、不満より、「感謝をすること」です。これは宇宙が求める進化であり、成り立ちなのです。

発想塾 総塾長
中山 憲士

極小素粒子「フォトン」の凄さを知る

運気を上・下させるフォトン

前項でも話をしましたが、私たちの周りには、多くのフォトンが飛んでいます。電話の電波と同じように人には見えません。しかし、人類を含めて多くの生命体に影響を与えていることが最近分かりかけてきました。

「良い予感がする」「悪い予感がする」。さらに、みんなが寄れば「沸き立ち、楽しい雰囲気生まれる」、逆に「暗く沈んだ雰囲気がある」。また、神社などへの参拝は、先人が奉ってきたパワースポット(幸運派動を呼び込む場所)なので、善いフォトンが蔓延しています。周りの全てに「幸運を呼ぶ」ベースがあり「ラッキーなことが起きる」のです。逆に運気の無い場所・人と会うと「自分の運気が下がる」を感じる場所・人には、悪フォトンが発生しています。実際に運気は下がるのです。

更に、「この場所(部屋)には先人(亡くなった人:親など)の姿を感じる」とか、先人が座っていた座布団に座ると先人の知恵や力・運を授かるような気がするなどは、先人のフォトンが今も飛んでいるからなのです。これらに加えて、「〇〇地へ行くと幸運があるよ」と、教えて頂いた場所に出向いていくと、予想通り「ラッキーなことに遭遇した」などを体験します。更に、私は、姓名判断師や、占い師、予言者などが占う(予言する)のも、これらフォトンの派動を読み解いていると感じています。これらも、そのうち物理学者が詳しく説明されて、発表をされる日は近いと思います。生命科学で研究している筑波大学名誉教授の村上和雄さんなどが中心に語られている「サムシング・グレート(人智を超えた大いなる存在)」などもこれらの粒子の存在ではと思っています。

また、物理学者の話が出たので、これらの関連として思い出しましたが、私たちが現在いるこの場所、この時にも、周りには、過去(昔)のフォトン、更に、未来(先)を告げるフォトンが、同時に飛んでいると最近の物理学者が発表しています。これらの、現在・過去・未来のフォトンが同時に居ることにより、先程の過去の記憶(先人など)や、出来事とその場に遺っていて感じる(蘇ってくることも)。現存する現在・過去・未来のフォトンがそれぞれの立場で、その時(時代)の真実を今の人に伝えてきているのです。それらにより、多くの人を感じる「先人の過去の想い」や、先の「予感がする」といった未来予測のことも、これら素粒子派動よるものだと言っています(「フォトン」とは言っていないが私はフォトンと思っています)。これらの過去や未来を感じる(伝わってくる)現象は、派動によるものだと、最近の物理学者が告げています。

発想塾 総塾長
中山 憲士

人の心(本心)を読む機器「スカイハート」が

幸せを招くパワースポットが読み取れます

AI時代の今日は、自分の意思を伝える手段として、従来の口頭や、手紙や、電話などから、コロナ禍の状況の中にある今日、今までのレベルから想像もできないような機器が開発されるであろうと予測しています。それは、人と人の交流には、その場の熱量(人の想い・気持が託されているフォトン粒子)を読み取る手段として、開発されるであろう「フォトンの派動読み取り機器(スカイハート:仮称?)」が、今のスマートホーンのように私たちの周りに広まることが見えてきます。

スカイハートは遠く離れていても、今のリモートとは違って、相手の熱量(想いの素粒子:フォトン)が表示されます。コロナ禍でリモートによる交流が急増していますが、これらは画面を通しての対面であることから、人の想い(発する熱量)は伝わりません。故に、心底(本音)の心は観えないため、事務的なやり取りになっています。これらを一步進めるためにも、生命体が発しているフォトン粒子を読み解くことが出来れば、お互いの心の深い部分(本音:熱量)が伝わります。これらにより、すべての生命体(人)と、接するとフォトンの粒子によって、本音の心が相互に伝わります。

このように、人が発するフォトン粒子によって、全ての人の表情(想い)が波動となって誰にでも伝わることとなると、表面はきれいごとを言っている人も、相手に本音を読み取られることとなります。上辺だけのリップサービス(口先だけのきれいごとやウソをつくこと)は、相手に観えるためできなくなります。このように、誰の心をも、画面に表現されるスカイハートが開発されれば、他人にウソをつかなくなります。故に、人間社会全体が素晴らしく良くなり、健全な社会を創ります。

開発された、スカイハートは全ての場所の善・悪フォトンの想いを表現します。故に、あなたが、沸き立つ場所や、仲の良い仲間と会ったり、神社などに赴いたときなどには、「善フォトン」が多く発生している姿が現われ、その場を盛り上げている活発な活動が見え、みんなで場の善い運気を頂けることとなり、全員が気持ちも高ぶり、その場所が「良い場所(仲間)だ」と、その場の運気が更によくなり、このような場所にいると、全ての人は運気上昇となります。逆に嫌な場所に出向いたり、嫌な人と会えば、運気が下がり、「悪いフォトン」を頂き、「悪い場所」を感じて、嫌な感情(雰囲気)を受けることとなります(上梓しました「発想塾」を参考にしてください)。

※乳児が突然、「泣きだす」とか、「笑いだす」のも、無邪気なため、フォトンを感じているという方もいます。塾生の皆様の力で周りに善いフォトン派動を創りましょう。

発想塾 総塾長
中山 憲士

人に大きく影響しているフォトン

私、ラッキーなことが増えた。私の運気が上がってきた。これらは、大半がフォトンです。逆に、運が無い、また、失敗したなどもフォトンが大半です。

天の声(知らせ)を頂いたり、予感がするも、フォトンが影響しています。

日常の中で起きていることをポジティブに捉える事がそのまま、運気を上げることに繋がっているのです。運を引き寄せる方法として、不足ごとがあっても、ネガティブ(マイナス)言葉や、不満語を発しないことです。逆に感謝心や、夢、そして、やりたいことを明るくポジティブ(プラス)言葉で発すると運気が上がり、未来が拓けてきます。

人生にワクワク感を持つことが重要です。もし、嫌なことがあっても、本心から「学ばして頂いている。感謝します」と、感謝心を伝えると、感謝の心が伝わり、幸運を呼び込みます。このように、人は進化させるために、全ての現象をどうプラスに捉えるかで、幸・不幸が分かれます。フォトンも宇宙の誕生時から、「進化させること」の使命を受けており、その役目として、人(生命体全て)の心の底(本心)を読み取り、それを実現させる役目を授かっており、生命体(人)の思いの中の、プラスにも、マイナスにも、手を差し伸べてくれているのです。

人が本心から感謝心を持てば、フォトンはその心を実現させるために協力を頂けません。すなわち、運気が上がります。逆に本心が不満(思っている)であれば、フォトン派動は不満心の実現が進化と捉えて、本人の意思とは逆に「不満の方向」に導きます。結果、本人からすれば、更に不満を呼び、予想外のマイナスとなり、周りをさらに暗くします。

また、こんな例も、自分の損得(都合)のために、他人にウソをつく、フォトンは口先で言っているウソ言葉ではなく、人の本心(心の中にある部分)を読み取ります。これにより、本人が求める結果は逆となり、運気は下がります。このようにフォトンは心の深い部分を読み取って実現へ導くのです(ゆえに、フォトンは人の心の底(本音)を読み取るため、対外的に言っているウソ(表面言葉)により、結果は上手くいかなくなり、ウソをついた本人の望む逆効果となる所以です)。

私は弊社に掲げている額に、「今に感謝 今日に感謝 人生に感謝 全てが師であり、学びである 人生に無駄はない」と掲げて、身の周り起きる全ての事象は、学ばして頂いている(肥やしを頂いている)と、ポジティブに考えるように社員に伝えていきます。こう願うことは、幸運を呼び込むことに繋がります。

生活する中で、周りを美しく清め、雰囲気や大事にし、人に優しさを伝え、笑顔で接して、人間力を磨き高めることは、周りにいる善フォトンの協力を頂くことになり、幸せな人生がやってきます。

人は意識して前向き思考を繰り返すことにより、定着し、奇跡がおこり、想いを実現

させ、幸せを招き続けます。これが目に見えない素粒子フォトン活用(協力を頂く)法
なのです。宇宙は、宇宙の歴史の基本、常に進化せよと、人(生命体)の想いを実現
させる方向(進化)に動いてくれているのです。

運気が上昇する／下降する言葉(行為)

あなた(周り)の運気を上げる手法

「上昇運を呼ぶ人」の言葉・行為(常に正しいことをする。夢を持って生きている)

- ・前(未来・将来)に向かって考える。　・周りの人・モノを褒める。
- ・「凄い」「おいしい」「ありがたい」などの「感謝言葉・態度」を発する。
- ・相手(周り)に尽くし「期待を超えたプラス1の奉仕心で接する」。
- ・笑顔が絶えない、明るい雰囲気がある。
- ・ウソを言わない、悪いことをしない強い心がある。
- ・不満を発しない。　・神(天)が応援したくなる正しい心を持った人。
- ・周りに「えっ、どうして」と常に興味心が強い。
- ・自分にも他人にも、モノにも100%を求めない。
- ・積極的(肯定的)な生き方。
- ・ピンチ、不遇な時「学ばして頂いている」と感謝心を持って前向きに考える。
- ・良い雰囲気を生む、善フォトンを中心に受・発信している。
- ・自分は「幸せだ」と言って(思っ)、明日に夢を持った生き方をしている。

「下降運を呼ぶ人」の言葉・行為(前項の「上昇運を呼ぶ人」逆です)

- ・過去の無意味な話をする。　・不平、不満を常に発する。　・愚痴が多い。
- ・人の批判をする。　・人を疑っている。　・周りの事象に興味を持たない。
- ・人をごまかす。　・バレ無ければいいとウソをつく。　・人から嫌がられる。
- ・笑顔が無い。暗い表情、感謝言葉が無い。相手に不満を与えている。
- ・悪い派動(悪フォトン)を発することが多く、同じ悪い派動を発する場所、仲間を好み、常に悪い運気を受けている。　・否定語が多い。　・手を抜く。
- ・自分は「不幸(不運)だ」と言って(思っ)、常にストレスを溜めている。

運気を上げる手法

上記は参考ですが、どなたも発想塾に参加することにより、沸き立つ自分の姿を呼び込むことが出来ます。「私には・・・」と否定される方もいるかも知れませんが、まずは参加することから始めて、「そうか、こんな世界があるのだ」と、未来が拓けた人生を見つけていただければ、この上のない幸せです。参加者様の年齢は問いません。特に将来のある子供さんには、前向き思考は重要です。まずは親御さん(爺さん)が参加され、子供に「考えること」の重要性を、発想塾体験され説いてみてください。

発想塾 総塾長 中山 憲士

地球(モノ・生命)の成り立ち

地球は 47 億年前にビッグバン（爆発）により誕生しました。27 億年前に酸素が生まれ、それまでの生物は酸素により死に絶えました（それまでの生物に対しては、酸素は猛毒となったのです）。そして、27 億年前に生命体を持った生物の誕生となりました。人類の誕生は 200 万年前に誕生しています。

このような宇宙の成り立ちを考えていくと、宇宙には進化する使命があります。特に生命体においては、昨日より今日と、進化を求められています。それを司るのは「神」とか、「天」と私たちは呼んでいます。

人類の歴史を觀ても、常に進化をしてきました。現在も進化は続いています。また、進化に逆らう行為（考え方）は、長期で見れば宇宙の意に反しているため、上手くいかず、抹殺されてきています。

出版にあたっての意図

AIの台頭により、人間として考えることの重要性が増し、アメリカや中国ではAIに力を入れています。今後、AIの進化により、覚えることにおいて、人間は勝てません。一説ではAIの能力は先10年位で人間のIQ(能力)の100倍に達すると言われていています。今後は覚えるだけ、繰り返すだけの従来の教育や仕事はAIに奪われ、人の生きる面白さ(夢)が無くなります。

戦後の日本を見たとき、小学校しか出ていない。田中角栄、本田宗一郎、松下幸之助など、夢を持って日本を引っ張っていた姿がありました。今日の日本を観たとき、平和ボケした現状満足、危機感が無く、未来を考えていない日本。

一方、アメリカのGAF Aと呼ばれるIT軍団、中国のITへの注力度を見ても、大きく遅れている日本。更に国際的地位の低下も各所にある。昔の頑張っている日本が失われている。今後は日本人の道徳心、優しさなどの良さを残し、先読みの出来る頑張るあなた(日本人)を取り戻すための出版です。

宇宙の歴史には、全てのモノを進化させる基本が備わっている。人類はこの意思に添って生きることが繁栄に繋がることから、ポジティブに思考し、宇宙の力を戴き、充実した人生を歩む参考書です(逆は宇宙から排除される)。

自分が、家族が、仲間が、職場が、そして日本中がワクワク感を持って運気を上げ、楽しい、嬉しい、面白いなどを体験しながら「新」を追求し成果を出す充実人生を歩む参考書です。

京都大学の前・山極学長は「人間の基本は考えること」だと言っています。

人生、無理せずに周りにある難しい問題点を常にプラスに考え、解決し、自己成長を得ること。ピンチをチャンスにする考え方をもち、強い思いは必ず実現すること、発する言葉通りに自分がそのまま導かれることを知り、家族などに、これらを伝えることで好転人生を体験。更に、無理をせず人間力を上げる手法を知り、運気上昇を手にする手法を例示しています。

人も、モノも100%の完成は無いことを学び、進化は求めるが100%は求めない楽しい人生を見つける手法を学び。更に、周りを見て、考えた結果「これは私が生んだものだ」と、無理をせずに喜び人生を体験して頂きます。

AI時代を迎えた今日、誰もが本来の人間を蘇らせ、充実した幸せ人生を歩むために、書籍「発想塾」を上梓しました。家族や周りのみんなの「充実人生」、そして国民の幸せを願っての出版です。

発想塾出版にあたって 中山 憲士

幸せを招く 発想塾の書籍購入 を考える方へ

- 一般の方は自分の意思で購入して下さい（他人から貰わないように）。
- 上手な活用を考えると。
 - 1、個人購入された方は、更に家庭内のみんなで読み、以下のような有効な活用をして下さい。①子供と一緒に「新」を考えるために家族でテーマを探し「爺さんこんなの考えたよ」「僕はこんなのを創ってみたよ」など、考える沸き立つ家庭実現のために活用して下さい。
 - 2、企業内において、グループ（多くの方）が購入して、読んだ方が定期的に「新に向かって考える会合」を設けて、仕事の中に「こうすれば…（早くなる、便利になる、小さくなる、…などの改善)」。また「こんなモノがあれば…など、新を考える」。更に「将来こんなモノが流行るのでは…と未来を読み解く」など。常にみんなで「次世代の職場創りを考える仲の良い企業づくり」を目指す教本にしましょう。
 - 3、自治体などにおいても、本書籍を読み終えた仲間が定期的に集い、自治体・住民を良くするために、改善、改良、新企画、進化する新サービスなどを考える仲間（グループ）創りそして、住みやすい前向きな街創りを提案し、県（市・町）民と共に実現しましょう。
 - 4、まとめとして、本書籍を読んで「発想塾」を意識することは、自分を取り巻く全ての人が、お互いに未来を考えることをベースとするようになります。今までのような不平・不満、批判など、意味の無い話が無くなり、周りのみんなが、仲良く、前向きに、そして家庭内や社会が沸き立ち、生きる喜びが、具体的な成果として現れる未来の姿を目指しています。これらは、今後A I出現によって人から仕事が奪われる淋しい現実、更に国際的なレベル（競争力）低下の不安を一掃させ、塾活動（独り塾から始まる意識塾です）により、将来に夢を見つけ、若者には生きる勇気を与え、積極的な生き方は、積極的な結婚に繋がり、子供を生み育てる喜びとなります。これら塾活動は、簡単なことから始まります。しかし、結果は大きく、あなたの家庭を、職場を、地域を、そして、未来の日本の姿を明るく照らし、ビックリするほど、人間の喜ぶ姿を呼び込み、大きく変えることとなります。

先ずは、私が上梓しました「幸せを招く発想塾」を読んでみて下さい。

発想塾出版に当たって 中山 憲士

私への連絡先 090-8691-1663

ランデックス工業（株）内 087-815-5222

発想塾の取組効果

急変している世界、そして日本。自分を守り、家族を守り、日本を守り、そして未来に夢を描き、伸ばす（進化させる）ことが我々に課せられた使命。

発想塾参加者の全ての人々が24時間周りを見渡し、生活の中に、近隣、学校、職場（企業はこれから特に重要）など、全ての中に**考える**ことで、「エッ」が浮かぶ体験をして頂き、結果、面白い、凄いい、嬉しい、楽しい、収益アップなど、前向きで喜びの人生（姿）を手にするすることができます。

塾活動は自分塾（独り）から始まり、常に無理をせず、周りを見渡し、先（未来）を考えると、こんなモノがあればいいね、便利になるね、早くなるね、売れるね、簡単になるね、きれいになるね、こんなことをすれば凄いいことになるね。（周りの人と共に考えることも）これらにより、自分も元気になるが、家族を含めた周りの人全てが、元気で、前向きになり、不平・不満が無くなり、人として正しい生き方、運氣上昇を知り、塾の重要性を知ることになります。

<考え方の例>

- ・ 「この目的は何か、手段ではないのか」で考える。
- ・ 「仕事の中に他社との差別化戦略を」考える。
- ・ 「こうすれば、もっと良く（便利に）なるのでは…」で考える。
- ・ 「嬉しい楽しいを呼び込むには…」で考える。
- ・ 「無意識作業（繰り返し）をしているが、進化させるには」で考える。
- ・ 「身近な、この靴、この服、この〇〇をもっとこうすれば…」で考える。
- ・ 「新聞、テレビで『不便、危険』などの問題を解決するには…」で考える。
- ・ 「人との会話の中の『不満』を何とかしようではないか」で考える。
- ・ 「運氣を上げ、ラッキーを呼び込むには…」で考える。

（まだまだ「考えること」はエンドレスです。楽しく考えましょう。）

- 上記の「考え方の例」を参考に取り組んでいけば、直感力、閃き力、予感力などの感性が磨かれ、更に発想力が上がり、**考えることの大切さ**を学びます。
- 周りを見渡し、「**人も、モノも、100%の完成品は無いのです**」、だから楽しい人生が歩めるのです。
- **夢中になれるものがある人は幸せ人生**を歩むのです（特に子供には重要）。

※これらは、上梓本**「幸せを呼ぶ発想塾」**を読みながら取り組んでみて下さい。

発想塾 企画発案者 中山 憲士